令和７年７月２５日

校長室だより No３「１学期終業式式辞」

いよいよ明日から夏休みです。１学期の振り返りをしっかり行い、２学期に向けて計画的な夏休みを過ごしてほしいと思います。

先日、梅雨が明けましたが、６月以降、雨が少なく猛暑が続いています。６月開催となって２年目の麗明祭も暑いなか行われましたが、一般公開では 1,000 名を超える来場者があり大盛況でした。また、先日の野球の全校応援も、結果は敗退となりましたが、明新生が一丸となって応援できました。素晴らしかったと思います。

さて、今年の５月末に 5/1 現在の山形県の推計人口が 100 万人を割り 99 万 9378 人になったと発表がありました。6/1 現在では 99 万 8265 人となり、一ヶ月で 1000 人以上が減少したことになります。県の人口のピークは戦後間もない 1950 年の 135 万 7 千人で、その後増減を繰り返しながら 2000 年以降は減少を続けています。人口減少の主な原因は自然減です。これは出生数によるところが大きく、県内の出生数は 2004 年に１万人を下回り、昨年は 4999 人と過去最少を更新しました。今後も人口減少が続くことが予想され、2050 年には 71 万人、2070 年には 50 万人を切るともいわれています。

ここ上山市でも人口減少が続いており、2000 年に 37,000 人だった人口は今年３月には 27,000 人まで減少しました。１年間の出生数は 239 人から 93 人になりました。

出生数が減れば高校生の数も減っていきます。県内公立高校の定員割れも出生数の減少が原因の一つとなっています。

先日、総合的な探究の時間の中間発表会がありました。そのなかで「明新館の入学者を増やすにはどうすれば良いか」という発表がありました。発表を聞いて「まずは自分たちで何ができるのか考えている」ことが良かったと感じました。本校でも入学者数が年々減っており、開校当初１０クラスだった定員も、現在は６クラスとなり、今年は５クラスの入学者となりました。

入学者を増やすためできることは何か、いろいろな考えはあると思いますが、今できることから始めることが大事だと思っています。例えば明新館の魅力向上と情報発信もその一つだと思います。先ほどの麗明祭や全校応援などもその一つではないでしょうか。

普段の学校生活の中で、皆さんが当たり前と思っていることでも外の人から見ると魅力的なことがたくさんあると思います。

７月に本校関係者の方と農業クラブ県プロジェクト発表会を見る機会がありました。その方は明新館の発表を見て「シロアザミの保護活動や花育など素晴らしい活動をしているのですね」と話しておられました。

農業だけでなく、普段の学習や生徒会活動、部活動など魅力的な学習や活動はたくさんあると思います。また、総合的な探究の時間では地域と連携した活動も数多くありました。

学校にいればどれも日常のことかもしれませんが、明新館の外から見れば魅力的なことがたくさんあるのかもしれません。皆さんが明新館に入学したいと思ったとき、明新館のどんなところに魅力を感じたでしょうか。

この夏休みに初心に帰り、明新館の魅力をもう一度再発見してほしいと思います。例えば、明新館で勉強していること、課題研究のこと、部活動のことなどを明新生以外のいろいろな人に話をしてみてはいかがでしょうか。「それはすごい」という反応があればそれが明新館の魅力の一つだと思います。ぜひ、家族や知人、中学の後輩などに明新館で自分が学んでいることや取組んでいることを話してみてください。１学期の学校生活の良い振り返りになると思います。

最後になりますが、7/24 から横浜市、市川市で行われているビジネス計算、簿記、情報処理競技大会に出場する情報経営科、8/21 から山形市の山形テルサで行われる日本学校農業クラブ東北連盟大会山形大会に出場する食料生産科、そして 7/26 から香川県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場する邦楽部、美術・イラスト部の皆さんには山形の代表として明新館の名前を全国に示して欲しいと思います。これも明新館の大きな魅力になります。

夏休み期間中、事故に気を付け、体調を万全にして、充実した夏休みになるよう様々な活動に取組んでください。２学期の始業式で一回り成長した皆さんの姿を見ることを楽しみにして、１学期終業式の式辞とします。